

## ◆長崎のおすすめスポット・グルメ



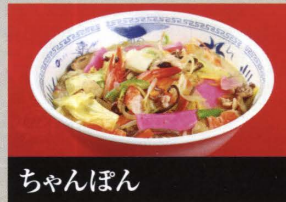
**軍艦島**  
繁栄と衰退を語るかつての海底炭坑  
映画やドラマのロケでも頻りに使用される軍艦島。平成27年7月に世界遺産に登録され、世界中の注目を集めている。



**グラバー園**  
産業革命立役者グラバーのビジネス拠点  
スコットランド出身の貿易商グラバーは、当時の日本の主要産業の近代化に貢献した。園内ではロケ衣装での写真撮影やガイドツアーもある。



**稲佐山**  
世界・日本新三大夜景を楽しむ  
すり鉢状の地形が生み出す立体的な灯りを楽しめるのが長崎の夜景の特徴。山頂の展望台から360度見渡せば、坂のまち長崎の灯りが広がる。ロープウェイで上るのがおすすめ。



**ちゃんぽん**  
言わずと知れた長崎のソウルフード  
明治初期、中国人留学生に安くて栄養価の高いメニューを、と考案されたのが「長崎ちゃんぽん」。ふんだんな野菜と魚介から出るうま味たっぷりのスープは、栄養満点。

## ◆外海地区のおすすめスポット・グルメ



**枯松神社**  
日本に三カ所しかないという聖地  
日本人伝道士バスターンの師であるサン・ジフンに祀る全国でも珍しいキリシタン神社。禁教期には信徒たちが密かに集まり祈りを捧げた聖地でもある。静寂に包まれた神聖な雰囲気がある場所。



**外海歴史民俗資料館**  
外海地区の豊かな歴史と文化を紹介  
外海地方の先史時代の遺跡や中世の神浦氏の歴史、近世の大村・佐賀藩の支配下であった外海に伝わるかくれキリシタンに関する豊富な資料を見ることが出来る。「ド・ロ神父記念館」「旧出津救助院」なども歩いてすぐ。



**道の駅・夕陽ヶ丘そとめ**  
ここから見る夕陽は長崎屈指の素晴らしさ  
外海にゆかりのフランス人宣教師ド・ロ神父にちなんだ「ド・ロさまそうめん」、ゆうこう、かんころ餅、など外海地区の特産品と地元産の新鮮な野菜を販売。「遠藤周作文学館」へは歩いてすぐ。



**ド・ロさま海鮮パスタ**  
長崎の魚を使ったら、パスタにも旬ができました。  
「ド・ロさま海鮮パスタ」は外海地区の料理店のみで味わうことができる長崎の魚を使った新・ご当地グルメ。外海地区で作られるパスタと新鮮な魚介のコラボは、季節の旬を感じる贅沢な逸品。店舗情報は「魚の美味しいまち長崎」を検索。



## 平成30年の世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

「沈黙」の舞台となった外海地方は「潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を目指しています。

時代	西暦	日本でのキリスト教の歴史
室町	1549	フランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を伝える 大村純忠が初の「キリシタン大名」となる
	1563	
	1582	天正遣欧使節がローマへ向けて出発する
安土・桃山	1587	豊臣秀吉が伴天連追放令を出す
	1597	日本二十六聖人殉教
江戸	1612	徳川家康がキリスト教を禁止する
	1633	クリストヴァン・フェレイラ (イエズス会日本管区の責任者) が棄教する
	1637	島原・天草の一揆が起きる
	1643	ジュゼッペ・キアラ (ロドリゴのモデル) らが日本に潜入する
	1644	最後の神父が殉教し、日本国内に神父が不在となる
	1657	潜伏キリシタンの弾圧 (大村藩の郡崩れ)
	18世紀末	外海地方から離島などへの開拓移住が始まる
	1864	外国人のために大浦天主堂が建てられる
	1865	大浦天主堂で信徒発見
	1867	潜伏キリシタンの弾圧 (浦上四番崩れ)
明治	1868	潜伏キリシタンの弾圧 (五島崩れ)
	1873	明治政府が信仰の自由を認める

「潜伏キリシタン関連遺産」の価値を表す時期



沈黙の舞台となった外海地方、「潜伏キリシタン関連遺産」の資産も巡ってみませんか？

「トモギ村」のモデルとなった外海地方は、禁教期には多くの人々が潜伏キリシタンとなり、密かに信仰を守り続けていました。そのためキリシタン関係の信心具や伝承地が数多く残っています。特に、構成資産の「外海の出津集落」や「外海の大野集落」では禁教期の潜伏キリシタン集落であった頃の様子が遺構として良好に残されています。また外海から五島各地への開拓移住によって潜伏集落が拡大した重要な場所でもあります。



「無原罪の聖母」  
禁教期に外海の潜伏キリシタンが信仰のために使用していたもの (長崎市立ド・ロ神父記念館蔵)

- 001 原城跡
- 002 平戸の聖地と集落 (春日集落と安満岳)
- 003 平戸の聖地と集落 (中江ノ島)
- 004 天草の崎津集落
- 005 外海の出津集落
- 006 外海の大野集落
- 007 野崎島の集落跡
- 008 頭ヶ島の集落
- 009 奈留島の江上集落
- 010 久賀島の集落
- 011 黒島の集落
- 012 大浦天主堂

# 沈黙

## — サイレンス —

17世紀江戸初期、激しいキリシタン弾圧の中で棄教したとされる師の真実を確かめるため

ポルトガルから長崎にたどり着いた宣教師ロドリゴ。

彼の目に映ったのは想像を絶する現実だった。

信仰を貫くか、棄教し信者たちの命を救うか—究極の選択を迫られる。

遠藤周作の代表作にして戦後日本文学の金字塔である原作と出会ってから28年。

アカデミー賞®受賞の巨匠マーティン・スコセッシ監督が

「人間にとって本当に大切なものとは何か」を描き出す渾身の超大作。

2017年1月21日(土)

©2016 FM Films, LLC. All Rights Reserved.

Photo Credit Kerry Brown

### 長崎県内の観光情報のお問合せはこちら



長崎観光ポータルサイト  
**ながさき旅ネット**  
http://www.nagasaki-tabinet.com  
ながさき旅ネット 検索

長崎県観光案内所  
(一社)長崎国際観光コンベンション協会 TEL.095-823-3631  
(一社)長崎温泉観光協会 TEL.095-823-7423  
佐世保観光情報センター TEL.0956-22-6630  
(一社)五島市観光協会 TEL.0959-72-2963  
平戸観光交流センター TEL.0950-22-3060

(一社)長崎県観光連盟 TEL.095-826-9407  
雲仙温泉観光協会 TEL.0957-73-3434  
小浜温泉観光協会 TEL.0957-74-2672  
島原温泉観光協会 TEL.0957-62-3986  
(一社)南島原観光協会 TEL.0957-65-6333

観光に関するお問合わせ



TEL095-822-8888

◎年中無休  
◎受付時間 / 8:00~20:00

長崎の最新観光情報発信中!!

twitter

アカウント @nagasaki-kanko

facebook

アカウント 長崎市の観光情報

「遠藤周作文学館」ホームページ  
遠藤周作文学館 検索

沈黙 —サイレンス— 聖地巡礼MAP

「沈黙」の舞台・長崎を巡る





# エリア1

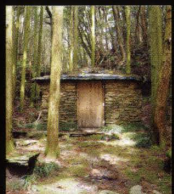
## かくれキリシタンの村、《トモギ村》のモデル 長崎市 外海地区エリア



五島でキチジロー（窪塚洋介）の告解をきくロドリゴ（アンドリュー・ガーフィールド）

### トモギ村

禁教期に外海地区の多くのキリスト教徒たちは潜伏して信仰を守り続けた。『沈黙』に登場するかくれキリシタンの集落《トモギ村》は外海をモデルに創作された。原作者の遠藤周作はこの地を取材で訪れ、小説を書きあげた。映画のシナリオハンティングのためにスコセッシ監督も訪れた。



トモギ村信徒の家で迫害の状況を見る

### バスチャン屋敷跡

禁教期に日本人伝道士バスチャンが隠れ住んだとされる場所。現在の建物は伝承を後世に残すために建てられたものだが、ロドリゴが《トモギ村》の信徒たちにかくまわれた炭小屋はこのような場所だったのかもしれない。



### 黒崎教会堂

遠藤周作がかくれキリシタンの取材で訪れたカトリック教会。聖堂は信徒によって一つひとつ積み上げたレンガで造られている。付属する鐘楼はかくれキリシタンの帰依を願って設置されたもの。



### 祈りの岩（枯松神社）

禁教期に黒崎地区の潜伏キリシタンたちが密かに集まり、オラショ（祈り）を捧げ伝言してきた聖地。伝道士バスチャンの師であるサン・ジフンを祀った神社の周辺には、キリシタン墓碑がある。



ロドリゴ（アンドリュー・ガーフィールド）とモキチ（塚本晋也）

### 遠藤周作文学館の前に広がる角力灘

外海地方のキリシタンの取り締まりが厳しくなると、多くのキリシタン家族が五島、黒島、平戸方面へ逃れた。弾圧の手段としてこの地でも踏絵が厳しく取り行われたという。文学館の眼前に広がる海は、《トモギ村》信徒らが海の中で殉教する場面をイメージさせる。



一人の小説家にとって、  
このような街にめぐりあつたことは、  
生涯の幸福である——遠藤周作

## 沈黙—サイレンス—聖地巡礼MAP 「沈黙」の舞台 長崎を巡る

# エリア2

## 沸き立つ地獄を前に、司祭は何を想うのか 雲仙市 雲仙地獄エリア



### 雲仙地獄

「お糸地獄」、「大叫喚地獄」など、およそ30箇所の地熱地帯があり、地底から吹き出す蒸気と熱気で覆われる光景は、まさに地獄そのもの。江戸時代、キリシタン殉教の地にもなった。映画ではフェレイラの眼前で見せしめの拷問が行われた場所。



拷問に苦しむ信徒たちのために祈るフェレイラ（リーム・ニールソン）



長崎市東出津町77 ☎0959-37-6011

### 長崎市遠藤周作文学館

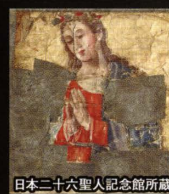
『沈黙』の舞台に建ち、遠藤周作の業績を顕彰し、『沈黙』の草稿をはじめ肉筆資料や遺品など約3万点の資料を収蔵し展示する文学館。西出津に建立された『沈黙の碑』には、「人間が／こんなに／寂しいのに／主よ／海が／あまりに／碧いのです」と刻まれる。



長崎市西坂町7-8 ☎095-822-6000

### 日本二十六聖人記念館

江戸時代初期に外国人宣教師と日本人信徒あわせて26人が殉教した西坂の丘に建つ資料館。遠藤周作はここで殉教者「強者」と「弱者」を思いを寄せ、『沈黙』の視点へと発展した。潜伏キリシタンの密かな祈りの対象であった《雪のサンタ・マリア》は映画に登場した。



日本二十六聖人記念館所蔵

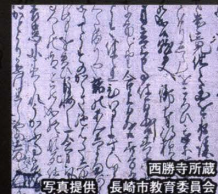
# エリア3

## 物語のクライマックスシーン 長崎市 市内中心エリア



### 長崎市中

奉行所の探索から逃れるため、《トモギ村》を出て山中を放浪していたロドリゴは、キチジローの裏切りにより役人に捕まる。長崎市中に連行されたロドリゴは、探し求めていたかつての師であるフェレイラと再会するが、棄教後のフェレイラは沢野忠庵と名乗り奉行所で働いていた。

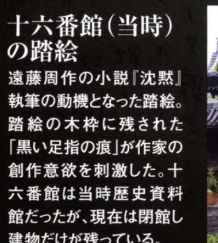


### 西勝寺

ロドリゴとフェレイラが再会するシーンのモデルとなった寺。フェレイラ（沢野忠庵）の誓書が書き添えられた「きりたんころび証文」（県指定有形文化財）の書き損じが残されている。遠藤周作は証文を見にこの寺を度々訪れた。

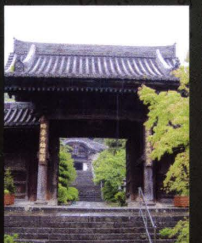


写真提供 町田市民文学館



### 十六番館（当時）の踏絵

遠藤周作の小説『沈黙』執筆の動機となった踏絵。踏絵の木枠に残された「黒い足指の痕」が作家の創作意欲を刺激した。十六番館は当時歴史資料館だったが、現在は閉館し建物だけが残っている。



### 皓臺寺

フェレイラ（沢野忠庵）の菩提寺。遠藤周作はこの寺とその付近の静寂を好み、原作で晩年のフェレイラが住んだ場所として描いた。



奉行所の通辞（浅野忠信）

### 長崎奉行所立山役所（長崎歴史文化博物館）

長崎奉行所でついにロドリゴは踏絵に足をかける。原作の奉行所は本博多町（現・万才町）とされるが、現在はここで立山役所の遺構と復元された建物を見ることができる。敷地内には遠藤周作が通ったレストラン「銀嶺」も移転され営業している。



1978年撮影

